

性課  
児童  
女児

人と人とのよりよい関係を  
県立広島大学庄原キャンパスでデートDV講座

県立広島大学庄原キャンパスで5月23日、同キャンパスの1年生約170人を対象に「デートDV防止講座」を開催しました。

講座では、県東部でデートDV防止のための啓発活動に取り組んでいる「デートDV防止ひろしま」の谷元絢子さんと奥野しのぶさんが講師となり、まずDVDで彼との関係に悩む女子高校生が主役のミニドラマを視聴。

その後、ドラマの場面の中から、①自分に聞かずにアルバイトの予定を勝手に決めた彼女に怒り出す②彼女の携帯電話からアルバイト先の先輩男性のアドレスを無断で削除する③無理やりキスを迫る④といった彼の行為を取り上げ、「彼女はどんな気持ちをしたのか」「それぞれの行為はデートDVにあたるのか」について、学生から意見を求め、会場全体で考えていきました。

講師のお二人は「大好きな相手から暴力を振るわれると『好き』という気持ちと『怖い』という気持ちの間で、とても混乱した精神状態になる」



真剣に耳を傾ける学生たち

と話し、「もし友だちから相談を受けたら、その人のつらい気持ちをしっかりと聴いてあげてほしい。そしてDVの相談窓口に相談を」と呼びかけていました。

※デートDVとは、恋人からの身体的、精神的、経済的、性的暴力のことをいいます。

工課  
商観  
光

4日間で延べ2357人が庭を見学  
さとやまオープンガーデン見学会

花と緑のまちづくりの推進を目的に昨年8月に結成した「しよらばら花会議」が、市内を舞台に試験的にオープンガーデンを行いました。

5月21日・22日、6月11日・12日のわずか4日間で、公開された庭11カ所に市内外から延べ2357人(実数約600人)が見学。参加者からは「とても楽しかった」「癒やされた」「秋も楽しみ」といった声が聞かれました。

理事長の佐藤浩子さんは「いただいた意見を参考に、秋のオープンガーデンに向けて案内マップの作成やおすすすめコースの設定、タクシー会社や宿泊施設との共同企画など、趣味のガーデンが地域の活性化に繋がるような取り組みになるよう準備を進めていきたいと思います」と話していました。

「しよらばら花会議」では、一般公開していただけるお庭を募集しています。問い合わせは、商工観光課内「しよらばら花会議事務局」(☎0824-73-1178)まで。



花と緑に囲まれくつろぐ参加者



講演する金田さん

市とプレストケア・ピンクリボンキャンペーン・庄原実行委員会は5月12日、口和老人福祉センターで「乳がん予防講演会」を開催しました。当日は、乳がん患者友の会「さらさら」世話人の金田有美子さんが「輝く私であるために」と題して講演。金田さんは自らの体験をもとに、乳がんを正しく理解することや早期発見・早期治療の大切さを、参加した42人にやさしく力強く語りかけました。今回の講演会は、口和健康づくりの



打ち合わせの様子

会（代表 門野康江さん）が中心となり和やかに進行。今後は、同実行委員会のメンバーとして加わり「乳がんを防ぎいのちを守る運動」を地域に広げる活動を行っていきます。プレストケア・ピンクリボンキャンペーン・庄原実行委員会の森本静美さんは「口和健康づくりの会が加わり活動の広がりを感じている。この運動が市全体に広がるよう活動を続けていきたい」と話しています。

健康 医療 保

口和に広がる  
ピンクリボンキャンペーン活動  
乳がん講演会開催

健康と福祉を考える「健康福祉まつり」を5月28日、庄原市保健センター、総合体育館周辺を主会場に開催しました。当日はあいにくの雨にもかかわらず、約2000人が来場。今回は、健康長寿庄原音頭制作委員会が作成した「庄原ご長寿音頭」を歌手の南一誠さんがステージで初披露し、振り付けを

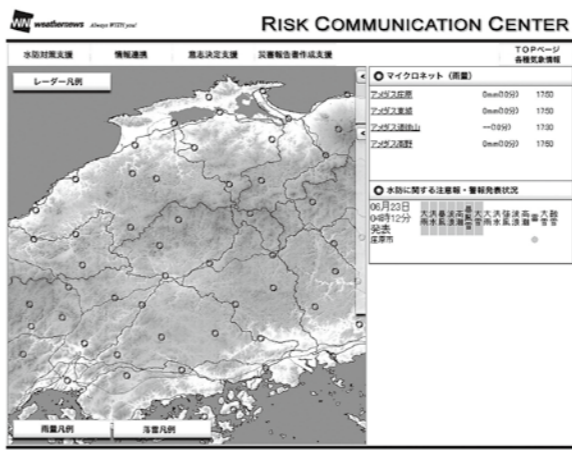


南一誠さんの歌で庄原ご長寿音頭披露

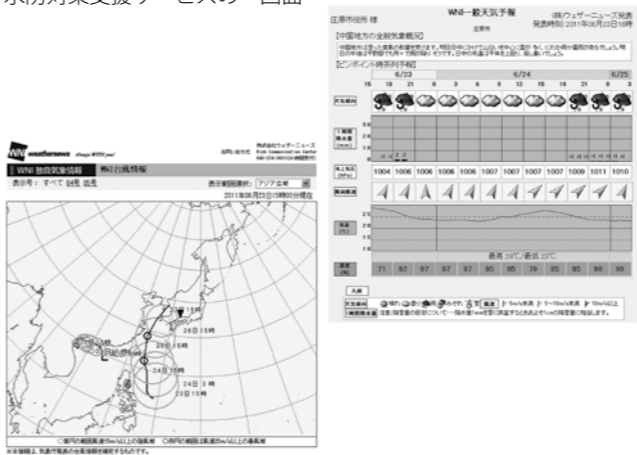


歯科相談コーナーに列

考案した市レクリエーション協会のメンバーが輪になって踊りました。会場では、健康チェック、歯科相談、体力チェック、整体やカイロプラクティクの無料体験など、このまつりならではの体験コーナーに行列ができていました。このほか、障害者施設や共同作業所など市内で活躍している団体のパネル展示、ステージでは口和エンジェルスのフラダンスや県立広島大学ダンス部のヒップホップダンス、ちびっ子に大人気のパルンショーなども行われ、笑顔あふれる一日となりました。



水防対策支援サービスの一画面



市は、災害発生時の初動体制を確保するため、株式会社ウエザーニュースと水防対策支援サービスに関する提携を結びました。このサービスは、市の地域特性や過去の災害情報、地域防災計画などを分析し作成された「水防体制指標（どろり）」という体制をとればいいのかの提供を受けます。その判定には「ウエザーリポート（同社携帯会員から寄せられる気象に関する情報）」や、「WITHTHレー

ダー」（6秒に1回の更新頻度で高度2千以下までの地表付近で発生する現象をほぼ即時で観測できるレーダー）」が活用されます。これにより、局地的短時間強雨や集中豪雨の発生を検知し、注意報に依存しない適切な体制をとることが可能になります。市は引き続き、災害を最小限に食い止めるための諸条件の整備を進めていきます。

機課 危管

迅速な初動体制の確保と的確な体制の実現を目指す  
ウエザーニュースと水防対策支援サービスを提携

涯課 生学

トップアスリートに学ぶ  
レベルアップスポーツ教室



五十嵐さん(右から2人目)から指導を受ける子どもたち

上野総合公園陸上競技場で6月18日、「庄原市レベルアップスポーツ教室 陸上競技教室指導者講習会」を開催しました。今年で4回目となるこの教室に、市内の小学生67人、中学生29人、一般5人の計101人が参加。参加者はあらかじめ競技ごとに分



かれ、元中国電力陸上競技部副主将の五十嵐範暁さん、梅木蔵雄さん、財団法人広島陸上競技協会専務理事の東川安雄さんなど総勢15人の講師から、体の使い方や基本動作、練習法などを学びました。短距離走に参加した安部龍正くん（高野中1年）は「こういうめったにない機会が教えてもらえてよかった。今日習ったことを生かして頑張りたい」と話していました。レベルアップスポーツ教室は、本年度10月にバレーボール、1月にスキーを行う予定です。